



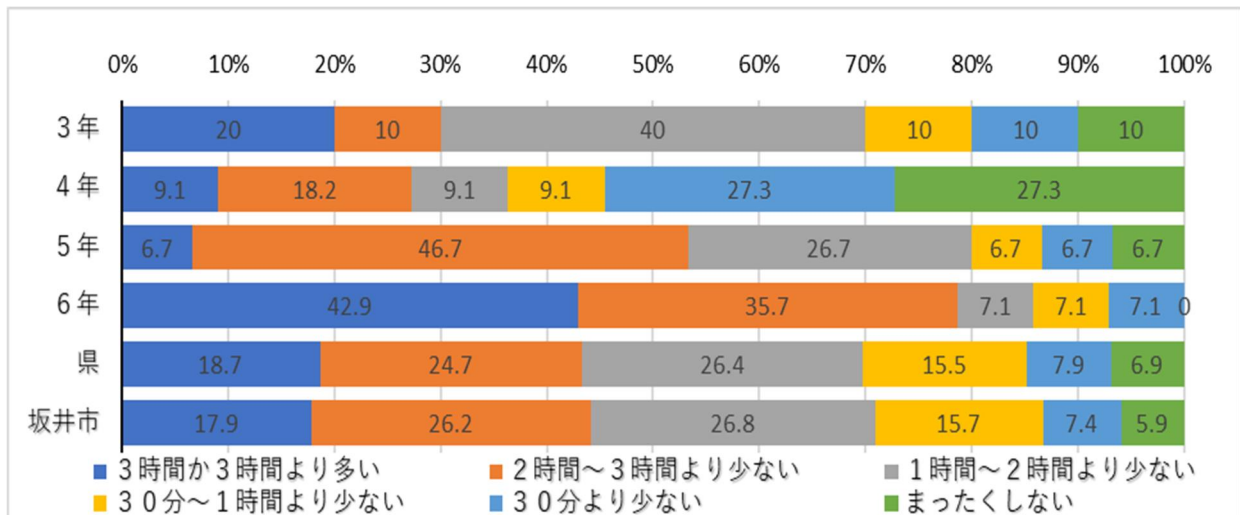
たかむく 2024

明章小学校
学校だより10号
令和6年9月18日

生活や学習、学級に関する調査の結果から

6月に「生活や学習、学級に関する調査」がありました。3年生以上の児童が「生活」「学習」「ICT」「読書」などの質問に回答しました。質問は全部で40問あるのですが、結果を見るといくつかの課題も明らかになりました。

そのひとつが「平日（月曜～金曜）、学校が終わってから、1日当たりどれぐらいの時間、インターネットやゲームなどを利用していますか。（学習のためにインターネットを利用する時間はのぞきます。）」という質問に対する回答結果です。



平日に2時間以上と答えている児童の割合が、3、4年生で約30%、5年生では50%を超え、6年生は80%近くになっています。グラフを見ると県や市の平均と比べて、オレンジの部分が右側に伸びていることがわかります。

ゲームやインターネットと上手に付き合う

「スマホ脳」という本があります。その中では「子どもたちが能力を発揮するためには、毎日最低1時間は身体を動かし、9～11時間眠り、インターネットやゲームの時間は1日最長2時間まで」と述べられています。1日に3時間以上費やしている子は学習時間が短く、睡眠時間を削っている可能性があります。成績や健康面に悪い影響が出てしまうことは容易に想像できます。スマホやゲーム機器といかにかに付き合っていくか。全く使わないというのは難しいかもしれませんが、悪影響を抑えるためにも上手に使ってほしいものです。

子どもたちは、自分の欲求をコントロールするのがうまくありません。その働きをする脳の部分が未発達だからです。「やりたい」と思う気持ちが「やめておいた方がいい」という気持ちに簡単に負けてしまいます。また、ゲームなどはとても楽しく感じてしまい、学習や読書がつまらないものと感じてしまいます。平日は2時間以内に収まるように、お子さんと一緒に時間の使い方を考えてみてください。